

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	15-3
PDCA	主要事業名	福祉センター管理運営事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当 内線	中川 347	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 1 単位施策： 地域福祉 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 4,447 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.04.02.01						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	事業概要： 身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図る福祉センターの管理・運営を行う。					
		事業目的： 身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図ることを目的とする。					
		事業内容： 福祉センターの運営、設備管理、各種イベントの開催等を半田市社会福祉協議会に委託する。					
		問題点・課題等： 施設の老朽化に伴い発生する様々な不具合への対応など。					
	予算額	主要事業とする理由					
	4,447 千円	福祉センターを適切に管理・運営し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図る必要があるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 1,219 千円	利用者相互の交流を促進し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進に資することができる。					
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進のためセンターが適切に管理運営されている状態						
その他 3,228 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	4,347 千円	利用者相互の交流を促進し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進に寄与することができた。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の評価・課題	新型コロナウイルス感染症の影響が一段落し、福祉センターの活動が全面再開されたことに伴い、利用者相互の交流が復活し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進に寄与することができた。					
		C					
A 今後課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 今後も利用者が安心・安全に利用できるように施設の管理運営に取り組むとともに、施設・設備の老朽化を考慮し、定期点検だけでなく日常点検を着実にを行い、不具合箇所等があれば適時適切に対応するよう運営委託先の半田市社会福祉協議会と協力しながら事業を進める。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用